

平成28年6月13日  
＜貼り出し先＞  
内閣記者会  
経済研究会  
厚生労働記者クラブ  
厚生日比谷クラブ

ジカウイルス感染症を予防するための  
6月の「夏の蚊対策広報強化月間」の標語の訂正及び広報の推進について

平成28年5月23日に公表いたしました「ジカウイルス感染症を予防するための6月の「夏の蚊対策広報強化月間」の標語が決定しました」につきまして、文言の一部に誤りがありましたので、お詫びの上、下記のとおり訂正いたします。

最優秀賞の標語「身仕度の 仕上げに虫よけ ジカ予防」につきましては、標語選考委員会の準備過程で当室の職員が「身仕度」を「身支度」と、「予防」を「防止」と誤って入力してしまい、そのまま5月23日に開催された標語選考委員会に付され、最優秀賞に決定されていたことが判明いたしました。

このため、標語選考委員会の委員の皆様にご迷惑をいたしましたことについて御詫言をいたし、御応募いただいたとおりの内容で最優秀賞とすることについて御了承をいただいたところであります。

政府においては、別添2のリーフレットなど各種の広報媒体に標語を活用し、蚊の対策に関する普及啓発を推進することとしています。

記

別添1の記者発表資料中＜最優秀賞＞の標語

(正) 身仕度の 仕上げに虫よけ ジカ予防 (小林 美穂さん(13) 埼玉県)

(誤) 身支度の 仕上げに虫よけ ジカ防止 (小林 美穂さん(13) 埼玉県)

以上

【本件に関する連絡先】  
内閣官房国際感染症対策調整室  
吉高、片山、戸谷、小林、黒瀧  
tel: 03-6257-1310 (直通)  
fax: 03-3501-3973

## 【別添1】

平成 28 年5月 23 日  
＜貼り出し先＞  
内閣記者会  
経済研究会  
厚生労働記者クラブ  
厚生日比谷クラブ

### ジカウイルス感染症を予防するための 6月の「夏の蚊対策広報強化月間」の標語が決定しました

内閣官房及び厚生労働省では、このほど、ジカウイルス感染症を予防するための6月の「夏の蚊対策広報強化月間」の標語につきまして、以下の作品を最優秀賞及び優秀賞に決定しました。

#### ＜最優秀賞＞

身仕度の 仕上げに虫よけ ジカ予防（小林 美穂さん(13) 埼玉県）

#### ＜優秀賞（3作品）＞

まあいい力！では困ります。放置の溜め水、濁り水。

（中山 直子さん(47) 福岡県）

蚊の用心 しているあなたも 日本代表

（大海 寛輝さん(37) 大分県）

小さくも 大きな脅威 蚊に注意

（大山 藍さん(16) 茨城県）

ジカウイルス感染症については、世界保健機関（WHO）が本年2月、中南米における小頭症等の多発について「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態」（PHEIC）を宣言し、その後、我が国でも6例の海外感染事案が確認されています。

ジカウイルス感染症を予防するため、政府においては、蚊が多くなる前の6月を「夏の蚊対策広報強化月間」として、国民一人ひとりができる「夏の蚊対策」の広報・普及啓発を集中的に実施することとしています。

今般、「夏の蚊対策広報強化月間」の標語として、本日開催した標語選考委員会において、国民の皆様から広く募集した標語のうちから、上記作品を最優秀賞及び優秀賞に決定しました。

今回受賞した標語は、6月の「夏の蚊対策広報強化月間」において、各種広報で幅広く活用していきます。



ジカウイルス感染症を予防するための  
「夏の蚊対策広報強化月間」の標語の募集・選考について

**1 主催者**

内閣官房、厚生労働省

**2 協賛**

日本家庭用殺虫剤工業会

**3 応募期間**

平成 28 年 4 月 25 日～5 月 15 日

**4 応募総数**

1, 689 作品

**5 標語選考委員会委員**

有 森 裕 子 (マラソンランナー)  
尾 木 直 樹 (教育評論家・法政大学教授)  
青 木 隆 典 (一般社団法人日本民間放送連盟常務理事)  
安 齋 尚 志 (日本放送協会理事)  
川 嶋 明 (一般社団法人日本新聞協会専務理事)  
倉 根 一 郎 (国立感染症研究所所長)  
和 泉 洋 人 (内閣総理大臣補佐官)

**6 今後の予定**

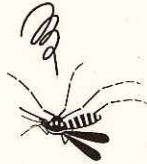
受賞者の方には、6月上旬に賞状を授与するほか、協賛いただいた日本家庭用殺虫剤工業会から殺虫剤や図書券などの記念品を贈呈する予定です。

**【本件に関する連絡先】**

内閣官房国際感染症対策調整室  
吉高、片山、戸谷、小林、黒瀧  
tel : 03-6257-1310 (直通)  
fax : 03-3501-3973

# ジカ熱・デング熱対策

蚊の用心  
ひと刺し用心



かゆいだけではありません!

ジカウイルス感染症(ジカ熱)やデング熱の原因となるウイルスは、それらに感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹がでるといった症状が1週間ほど続きます。

ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子供が生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化する可能性があります。

やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、いつでも蚊に刺されないように注意する、そんな習慣を身につけることが大切です。

また、流行地に渡航される場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう。

**ジカ熱やデング熱は蚊に刺されることで感染します。**

【ヒトスジシマカ】

背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、主に墓・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。





# ジカ熱・デング熱の感染もと ヒトスジシマカの 発生源を叩け!

優秀賞

「夏の蚊対策広報強化月間」標語

まあいいか!  
では困ります。  
放置の溜め水、濁り水。

福岡県 中山直子さん(47歳)



公園だけでは  
ありません!



雨ざらしの用具



雨除けのブルーシートや  
古タイヤに溜まった水たまり



風通しの悪い  
やぶ・草むら



植木鉢の皿



屋外に放置された  
空きビン・缶、ペットボトル



雨水ますや  
排水ます

ジカウイルス感染症(ジカ熱)やデング熱の原因となるウイルスは、それらの感染症に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、蚊の数を減らすことができます。

❗ 公園、学校、寺社、空海港、駅などの施設を管理されている方へ

蚊の発生を減らすため、定期的に周辺環境の水たまりの除去、下草刈り、雨水ます・排水ますの清掃などにご協力をお願いします。

ジカ熱やデング熱は蚊に  
刺されることで感染します。

【ヒトスジシマカ】

背中に1本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ごろまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、主に藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。





# ジカ熱・デング熱の感染源 ヒトスジシマカに ちゅうい 注意!

優秀賞

「夏の蚊対策広報強化月間」標語  
小さくも  
大きな脅威  
蚊に注意

茨城県 大山 聖さん(16歳)



## 先生や保護者の方へ

暑い時期になると、蚊が発生します。特にヒトスジシマカはジカ熱やデング熱といった病気を持っているものもいます。

蚊から病気をうつされないためには、

- ①蚊をできるだけ発生させない
- ②蚊にさされない

ことが重要です。

ヒトスジシマカの発生を防ぐには、空き缶や遊具などのくぼみにできた小さな水たまりを作らないことが大切です。また、蚊のいそうなやぶなどに近づくときは、虫除け剤を使用したり、長袖・長ズボンを着用する事を推奨します。

## お子様へ

バケツやじょうろのような水がたまる<sup>みず</sup>ところは、<sup>はっせい</sup>蚊が発生します。  
水がたまらないように、ちゃんとしまっ<sup>ね</sup>てね。



おくがい ほうち  
屋外に放置された  
こども  
子供のおもちゃ



うえきはち さら  
植木鉢の皿



あま  
雨ざらしのじょうろ

※<sup>おも</sup>重いものをもつときは、<sup>せんせい</sup>先生や<sup>ほごしや</sup>保護者の方におねがいしてね。<sup>かた</sup>

